

# 早稲田の杜金管合奏団

## 第7回定期演奏会

2007年3月3日(土)

開場14:30 開演15:00

会場:角筈区民センター



ひな祭りの日

コンサート

### Part1

シンフォニエッタより「ファンファーレ」

カンツォン第27番

第4旋法のカンツォン

剣士の入場

ひな祭り幻想曲

モテット「イエス、我が喜び」トロンボーン5重奏

L.Janacek, C.Mowat 編曲 大原実補作

G.Gabrieli, Musica Rara 版

G.Gabrieli, Robet King 版

J. Fucik, R.Harvey 編曲

山瀬幸雄

J.S.Bach, M. Halverson 編曲

カルメン組曲より「アラゴネーズ」「アルカラの竜騎兵」「ハバネラ」「衛兵の交代」「ジプシーの踊り」

G.Bizet, R.Harvey 編曲 森岡篤編曲 大内仁補作

### Part2

ひな祭りの主題によるファンファーレ

ゴスペル・ホールより「The Welcome」「Hymn1」「Praise!」

2人のストリート

愛の夢 トロンボーン5重奏

ゴジラ・ファンタジー

スーパーマンよりメインテーマ

中島章博

C.Hazell

松任谷由実 大原実編曲

F. Liszt, B.Holcombe 編曲

伊福部昭 福垣健介編曲 大原実補作

J.Williams, J.Nowak 編曲 大原実補作

## Part 1

### シンフォニエッタより「ファンファーレ」(L.Janacek, C.Mowat 編曲 大原実補作)

「シンフォニエッタ」の「ファンファーレ」はヤナーチェク(1854-1928)がチェコ体操協会第8回大会(1926年)のために提供した作品です。原編成はトランペット9本、バス・トランペット2本、テナー・チューバ2本、ティンパニです。本日は編成を拡大して演奏します。

### カンツォン第27番 (G.Gabrieli, Musica Rara 版)

ジョヴァンニ・ガブリエリ(1554-1612)はミュンヘンへの留学後、叔父のアンドレア・ガブリエリに音楽教育を受け、叔父の死後はベネチアのサンマルコ寺院第1オルガニストに就任します。サンマルコ寺院の大聖堂には左右二組のオルガンとステージがあり、この特性を生かした立体的な器楽曲を多数残しています。本作は8声によるフーガが聴きどころ。

### 第4旋法のカンツォン (G.Gabrieli, Robet King 版)

本作は5声×3組による「複合唱(cori spezzati)」の技法によるものです。左右に加えて正面と、3クワイヤによる呼応が続きます。ガブリエリの作品はのちのパロック音楽へ大きな影響を与えました。

### 剣士の入場 (J. Fucik, R.Harvey 編曲)

フチーク(1872-1916)はオーストリア・ハンガリー帝国時代のボヘミア(現チェコ)の軍楽隊長で、行進曲を300曲以上作曲しているそうです。本作はもっとも有名な作品。

### ひな祭り幻想曲 (山瀬幸雄)

ジャーン! ワセキン委嘱作品。ワセキンのトランペット奏者にして金管楽器製造家の山瀬幸雄による。3つの金管楽器群をひな人形に模しました。五人囃子は下手のオーケストラ金管セクション2Tp、2Tb、1Tuba、正面の三人官女はホルン・アンサンブル3Hr、上手の内裏雛、左右大臣は金管バンドの楽器Cor、Flg、Altohorn、Euph、そして牛車を打楽器が表現します。

### モテット「イエス、我が喜び」トロンボーン5重奏 (J.S.Bach, M. Halverson 編曲)

バッハ(1685-1750)のモテット"Jesu, Meine Freude"をトロンボーン5本で演奏します。敬虔な祈りを気高い演奏で(^\_^;)お聞きください。

### カルメン組曲より (G.Bizet, R.Harvey 編曲 森岡篤編曲 大内仁補作)

- ①アラゴネーズ……第4幕の前奏曲として演奏されます。闘牛が始まる前のセビリヤの街を描く情熱的なフラメンコ。カルメンの悲劇を描くピゼー(1838-1875)のオペラから5曲続けて演奏します。
- ②アルカラの竜騎兵……第2幕への前奏曲。ドン・ホセのアリアの旋律が登場。
- ③ハバネラ……第1幕でカルメンがドン・ホセを誘惑しながら歌うアリア。
- ④衛兵の交代……第1幕で衛兵の交代を真似しながら行進する子どもたちの歌。2本のピッコロ・トランペットが交錯しながら行進します。
- ⑤ジブシーの踊り……第2幕。酒場でジブシーの女たちが踊る。同じ旋律が反復し、高揚する。

## Part 2

### ひな祭りの主題によるファンファーレ (中島章博)

ジャーン! ワセキン委嘱作品。第2部冒頭は山瀬作品と同様、「ひな祭り」をモチーフに指揮者・中島章博が作曲したファンファーレです。西洋音楽と日本音楽の対比と融合を表現します。



### ゴスペル・ホールより (C.Hazell)

「3匹の猫」「もう3匹の猫」などで有名なクリス・ヘイゼル(1948-)が金管アンサンブルのために作曲した組曲で、4曲から構成されています。本日はそのうち3曲を演奏します。アフリカン・アメリカンの賛美歌であるゴスペルをモチーフに、それぞれ表題を与えられた組曲です。

- ① The Welcome……歓迎
- ② Hymn 1…賛美歌 1
- ③ Praise!…称賛!

### 2人のストリート (松任谷由実 大原実編曲)

ワセキンがほとんど毎回演奏するユーミン(1954-)の作品から今年はこの曲。1985年のアルバム「DA・DI・DA (ダ・ディ・ダ)から「2人のストリート」。

### 愛の夢 トロンボーン5重奏 (F. Liszt, B.Holcombe 編曲)

フランツ・リスト(1851-1919)の名曲 "Liebesträum"をホルカムがジャズ・アレンジした作品です。原曲は声楽曲「おお、愛しうる限り愛せ」。

### ゴジラ・ファンタジー (伊福部昭 福垣健介編曲 大原実補作)

伊福部昭氏(1914-2006)による「ゴジラ」映画シリーズの音楽の中から、「ゴジラ・マーチ」「愛のテーマ」「メーザー光線車マーチ」「防衛軍マーチ」などを福垣健介氏が吹奏楽へ編曲した作品を、大原実が金管合奏のためにまとめたものです。冒頭はもちろん「ゴジラ」のモチーフ。ガオーッ。

### スーパーマンよりメインテーマ (J.Williams, J.Nowak 編曲 大原実補作)

1978年の映画「スーパーマン」のメインテーマ曲です。ジョン・ウィリアムズ(1932-)の代表作で、続編(1981、1983、1987)、さらに最新作「スーパーマン・リターンズ」(2006)でも使われています。

## 早稲田の社会管合奏団 *The Waseda Brass*

Conductor	中島章博
Trumpets	朝倉巧 BACH/B 磯崎直人 SCHILKE/B 大内仁 SCHILKE/B、BACH/C、YAMAHA/FL 北村和弘 BACH/C、HOLTON/B、YAMAHA/Picc <b>Concertmaster</b> 久保正彰 BACH/B <b>Master of Ceremony</b> 杉山雅彦 BACH/B、YAMAHA/FL 武内昌徳 BACH/B、YAMAHA/Picc BOOSEY & HAWKS/Cor 坪井賢一 SCHILKE/C、YAMAHA/B 山瀬幸雄 MARCATO/B、MARCATO/FL
Horns	川俣裕章 ALEXANDER 103 高橋正幸 ALEXANDER 200 辻村憲治 ALEXANDER 200 塚田義昌 E.SCHMID/full triple 渡辺勇次 ALEXANDER 103
Trombones	赤尾達也 BACH <b>Inspector</b> 内田憲一 THEIN 小倉啓美 COURTOIS 酒井忠雄 KROMAT/Bass 天明昭男 COURTOIS
Euphonium	山田徹 WILSON
Tubas	新井英介 BESSON/Es 今泉康弘 ST.PETERSBERG/B 牛野広一郎 MEISTER ANTON/C
Percussion	田中厚 米倉幸子
Arrangement	大原実 Stage Manager 渡辺裕子



## ワセキン、ペナンで公演!

2006年11月23日から26日まで、中2日3公演の超ハードなペナン島楽旅へ行ってきました。ペナン島はマレーシアのペナン州、国際的に有名な海洋リゾートです。当地在留邦人の美術家、中山一人氏ご夫妻の精力的なマネジメントと在ペナン日本国総領事館の絶大なサポートにより、愉悅の日々を過ごしてまいりました。たった3泊4日の楽旅でしたが、音楽は国境を越えるというのは本当なんだなあ、と一同うなずき合ったのであります。

旅程はこうでした。11月23日午前10時の便でクアラ Lumpur 経由、ペナンへ。夜間到着。すぐに海辺でカニ料理を食す。ホテルへ。

11月24日、午前中はホテルで練習、14時にペナン日本人学校で公演。「ラッパ吹きの日」「カルメン」「熊蜂の飛行」など。終了後、マレーシア国立科学大学ホールへ。20時から2時間の本公演。ガブリエリなど古典で始めましたが、会場の空気が固い。まずい。「トリッチ・トラッチ・ポルカ」から急に客席が乗り出す。「シング・シング・シング」など、ジャズが始まると歓声!ノリノリ。初めの空気の固さは、「このオヤジたち何者なんだろう」というフシギ光線が会場に充満していたからでしょう。終了後、大学内で総領事館によるレセプション。ペナンの吹奏楽団メンバーが大勢来てくれました。お互いの楽器自慢などしながらすぞす。

マレーシアはすでに中産階級が成長していて、金

管楽器を楽しむ若者も増えています。ピッコロ tp をバシバシきめていた北村など、プラスバンド少女たちから超人気でした。いいなあ。宴会終了後、ホテルへ。ひと騒ぎして就寝。

11月25日、午前中にバスで出発、島の北部を東から西へ、途中スパイスガーデンで休息。tb 天明が一人で海へ入る。みな山の上から遊泳を見物。14時、インターナショナル・スクールの講堂で公演。ここは英国系のスクール。やっぱりジャズがうけます。トロンボーン4重奏ゴスペルタイムが3回目にして見事なパフォーマンス。終了後、ペナン盲学校の生徒たちから全員にプレゼントをいただき、みなでウルウルする。夜、バスでホテルへ。

19時からホテルでフェアウェルパーティ。総領事ご夫妻や、早稲田大学工学部へ留学経験のある当地のビジネスマン諸氏など30人ほど来場。このホテルは中山氏のご努力で借り切らせていただいたもの。通称ブルーマンション。マラッカの華僑が建てた20世紀初頭の洋館です。残響の長いパーティオの上階でガブリエリのダブルクワイヤを演奏、気持ちよかったあ。ガブリエリは1600年前後のベネチアの音楽家ですが、ベネチアはご存知欧州の海の拠点ですから、マラッカ海峡の入口ペナンとの縁は深い。胡椒や珈琲はここから欧州へ搬出されたのです。深夜2時ごろまで大騒ぎして就寝。

11月26日早晩起床、ペナン空港へ。8時間かけて帰国したのであります。楽旅に送り出してくれたメンバー全員の家族や友人に感謝します。また行っていい? 坪井賢一

# 応援します。あなたの専門店「ダク」

Musical  
Instruments  
Shop

**DAC**

**管楽器はダクで。**

お問合せ先 **TEL(03)3361-2211**  
FAX(03)3361-4300  
Eメール:info@kkdac.co.jp

営業時間 10:30~19:00(※日祝日は18:00まで)  
●ダクの定休日は毎月第1・第3水曜日です。(ただし祝日を除く)

株式会社ダク 東京都新宿区百人町2-8-9 (〒169-0073)  
ダクのホームページ <http://www.kkdac.co.jp/>



ダクの運営するミュージックスクール  
クラシックコースとポピュラー&ジャズコース

全17パート、随時生徒募集中!

MUSIC SCHOOL  
**Da Capo**  
ダカーポ

●入会のお問合せはお気軽に  
TEL(03)3361-4110  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-6-4  
※音楽雑誌「ダク」でもお問合せを受け付けております。